



第 50 回全日本クラブ対抗 ボウリング選手権大会 監督会議資料

日時 2022年1月21日（金）10：30より

会場 MKボウル上賀茂2Fバンケットルーム
※7レーン後方の入り口から入室下さい。

主催：公益財団法人全日本ボウリング協会

後援：公益財団法人京都府スポーツ協会

協力：日本ボウリング機構（JBO）

主管：一般社団法人京都府ボウリング連盟

連絡事項

1. 監督会議には、各団体1名の出席をお願いいたします。
監督の場内入場時間は10:00~です。
2. 今大会は新型コロナウイルス感染症予防策ガイドラインに基づき、無観客で競技を行います。監督・選手・大会関係者等特別に許可を得た者以外の入場は全てお断りします。
3. 初回入場時に新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出してください。(健康管理表については提出の必要はありません)提出がない場合、場内へ入場することはできません。未成年者の場合は親権者の署名捺印が必要ですのでご注意ください。
4. 入場時、体温測定を行います。37.5度以上の方の入場は固くお断りします。アルコール消毒液も設置しますので、出入場の際は必ず手指の消毒をしてください。
また、体調不良等がある場合は必ず辞退してください。
5. 参加賞等とともに、監督・選手にはIDカードを配布します。**配布時にJBC会員証をIDカードに貼り付けします**ので、JBC会員証をご用意ください。JBC会員以外の方は、会員証は不要です。場内では必ずIDカードを着用してください。IDカードの使い回しによるなりすまし行為は禁止します。
 - ・A組 選手 IDカード …… 青
 - ・B組 選手 IDカード …… 緑
 - ・C組 選手 IDカード …… 黄
 - ・監督、大会関係者IDカード …… 赤IDカードは回収しませんので、各自お持ち帰りください。
(ボウリング場に捨てて帰らないでください)
IDカードの再発行は、監督を通じて競技役員へ申告してください。所定の申請書に必要事項を記入の上、再発行手数料(300円)をお支払いいただきます。
6. ボール用タオルと筆記用具は各自で用意してください。
7. ボウリング場内では、マスクの着用を徹底してください。
フェイスシールド・フェイスガードの類ではなく、「マスク」の着用をお願いします。
また、着用の際は鼻・口をしっかりと覆うように着用してください。競技中(投球中及び投球の待ち時間含む)も常時マスクを着用してください。
8. 競技開始前の挨拶における握手、ハンドタッチ(グータッチを含む、他選手との肌と肌が接触する行為)は禁止いたします。競技中の声出し、声援も禁止いたします。
9. ボウリング場内ではソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします。また、場内での食事は禁止します。飲料の摂取は認めますが、その際は会話を謹んでください。
10. その他、(公財)全日本ボウリング協会の新型コロナウイルス感染症予防策ガイドラインを遵守して行動をお願いします。ボウリング場外においても、「新しい生活様式」に基づき、新型コロナウイルスに感染しないための最大限の努力を行ってください。
<https://www.gov-online.go.jp/tokusyuu/newlifestyle/index.html>
11. 感染リスクの高まる「5つの場面(別紙)」にもくれぐれも注意してください。
<https://corona.go.jp/proposal/>

開会式について

1. 開会式にはA組選手全員がマスクをして参加してください。選手は11時に1回戦投球レーンのボウラーズベンチに着席をしてお待ちください。但し27～30レーンは、役員席として使用しますので、当該チームの選手はコンコースにてご参加ください。監督はコンコースにてご参加ください。
2. 開会式終了までボールはボールバッグから出さないでください。ボールバックはベンチ後方に整理しておいてください。
3. 入場行進は行いません。今大会では都道府県連盟旗の持参は不要です。
4. 国家吹奏時はベンチ内、コンコースでそれぞれ起立し、姿勢を正して国旗に注目してください。「斉唱」ではありませんので、発声はしないでください。

優勝杯返還

1. 前年度優勝チームが投球するA組予選1回戦開始前に行います。
「東名クラブ」(愛知県)の代表者1名はアナウンスに従い、優勝旗を持ってアプローチに上がってください。

表彰式・閉会式

1. 表彰式・閉会式は表彰対象選手全員がマスクをして参加して下さい。
2. 閉会式には入賞選手全員がユニフォーム・ボウリングシューズ着用の上、参加してください。(必ず各自のボウリングシューズを着用してください。ハウスシューズの貸し出しは行いません)
3. 表彰対象選手は13時になりましたら所定レーンのボウラーズベンチへ集合し着席してください。
表彰順序は、下記のとおりです。
 - (1) 個人ハイゲーム・ハイシリーズ
 - (2) チームハイゲーム・ハイシリーズ
 - (3) ベーカーチームハイゲーム
 - (4) チーム 優勝～第6位
4. 表彰選手は、名前を呼ばれたら速やかに表彰台に上がって下さい。
5. 表彰式にもマスクを着用してご参加ください。写真撮影時のみマスクを外してください。閉会挨拶の時から、入賞選手は起立してください。
6. 表彰時、オフィシャルカメラマン及び入場を許可されたマスコミ以外の写真撮影は禁止します。オフィシャルカメラマンの撮影した写真はJBC公式フェイスブックへアップロードしますので、そちらをご参照ください。

各部説明

総務部

1. 大会運営本部・記録室は、2 F バンケットルーム（7 レーン側）です。
競技受付は会場入口付近に設けます。
2. 大会期間中は、競技関係以外の個人的な呼び出しは緊急の場合を除き行いません。
3. 大会期間中、監督は会場を離れないようにお願いします。監督章は各監督が付け、会場を離れる場合は必ず代理者に監督章を引き継いで下さい。なお、正規に登録された監督が会場内にいる場合、原則として正規に登録された監督が監督章を着用してください。**また、監督章を引き継ぐことができるのは、その時間に会場への入場が許可されている方のみとします。**
4. 選手控室はございません。また場内は禁煙です。
5. 大会中の使用ボールの損傷については、一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
6. 大会期間中の貴重品・所持品並びに駐車中の車両については各自が責任をもって管理して下さい。盗難等のトラブルが発生しても、主催者、主管連盟、センターは一切の責任を負いません。
7. 各選手の健康管理には充分ご注意ください。万一、大会期間中に会場内での事故や病人が発生した場合は、大会運営本部までご連絡下さい。
8. 大会期間中に、摂取した飲物やテープ等のごみは必ず各自で処分をお願いします。
9. ボウリングボール等を送る場合、宅配業者の指定はありません。1月20日(木)午後以降に到着するようお願いいたします。
10. 会場からの宅配業者は「佐川急便・着払い」のみとなります。伝票は3 F ボールバック置き場の受付場所のテーブルに用意しています。発送伝票に各自で記入し、ボールバックと共に所定の位置に置いて下さい。その際、伝票の1枚目（控）を持ち帰ってください。また引き受けできる大きさは、3辺計160cm以内、重さは30kgまでです。大会翌日の発送になる場合がありますので、配達期日指定は不可です。ご了承いただける方のみご利用ください。なお、引火性液体（液状ボールクリーナー等）、高圧ガスを含んだスプレー缶（テープのり、シューズ消臭等）が入っている場合は引受されません。
11. ボール置き場は3 F 北側会議室です。
12. 各シフト終了後、ボックス内の消毒作業を行います。競技が終了した選手は次のレーンへ移動し、場内放送があるまではコンコース後方でお待ちください。
13. ボウラーズエリアへのボールの持ち込みは4個以内とします。ダブルボールバッグ2つあるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つで運搬するなど、外形的にも4個以内であることがわかるようにしてください。競技中のボールの入れ替えは可能ですが、競技が遅滞しない範囲で行ってください。5個以上の持込みが判明した場合、ボールを戻していただくよう競技役員より指導を行いますので、ご注意ください。
14. ボウリング場外では、都道府県名の表示されたユニフォームやジャンパー等の恰好は控えてください。
15. 大会日程表で選手の入・退場時間を定めています。それ以外の時間の入場はできませんので、くれぐれも注意してください。
16. チーム補助員は、チーム補助員として登録されたチームの入場が認められている時間にのみ競技会場への入場が認められます。日によって異なるチーム補助員を登録することはできません。IDカードの使い回しが発覚した場合、その時点でIDカードを没収し、ご退場いただきます。また、以降の入場はお断りいたします。
17. センター屋内駐車場は、タクシー専用です。屋外に駐車してください。センター内駐車場が満車の際は、センター北側の第2駐車場をご利用ください。
18. **ボール置き場や競技場内での食事は禁止します。**食事は、感染対策が施された飲食店を利用してください。

競技部・審判部

1. 各連盟の登録選手氏名および投球シフト・レーンNo等はプログラムの通りです。誤字、脱字その他不明な点等ございましたら、早めに申し出て下さい。
2. 登録選手の変更は、所定の用紙に記入して監督会議終了までに競技受付へ提出してください。
3. 予選レギュラー方式では、補欠選手との交代はシリーズごとにはできますが、交代する場合は各シリーズとも競技開始の30分前までに「選手交代届」を提出してください。但し、A組予選2回戦開始前、B組・C組予選3回戦開始前の投球順変更はできません。
4. ベーカー方式（予選・決勝）における補欠選手との交代は、ゲームごとに行うことができます。申し出は必要ありませんが、リボンにより明示をしてください。なお、投球順もゲームごとに変更できます。
5. ベーカー方式（予選・決勝）における練習投球は、チームの1ゲーム目投球レーン（シングルレーン）のみで行ってください。補欠登録選手が投球しても構いません。
6. レギュラー方式におけるゲーム間のレーン移動では、ボールバッグを持っての移動はしないでください。ゲーム終了後、記録確認をしてモニター操作をしないで移動して下さい。スタートの合図は行いませんので、移動先レーンに名前が表示されたら、同一ボックスの選手了解のもと順次スタートしてください。
7. シフト間のレーン移動では、ボールバッグ・荷物を全て持って、アナウンスがあるまで次に投球するレーン後方のコンコースで待機してください。練習投球の後、一斉スタートを行います。
8. 補欠登録選手は、競技初日のボール登録の時間内にボール登録を済ませ、補欠登録確認書を競技受付に提出してください。補欠登録確認書を提出していない補欠選手は記録から抹消されますので、ご注意ください。IDカードも回収しますので、以降の入場はお断りします。なお、補欠登録確認書は事前に記入し持参をお願いします。
9. JBC 会員証、ボール検査合格証は各自が携帯し、審判の提示要請があったときは速やかに提示して下さい。
10. 競技受付は各団体監督又はチーム代表者が、同一チームメンバーの到着確認をした上で行ってください。
11. 競技開始前には、モニター画面に名前・ハンディキャップが表示されますので訂正がありましたら審判員に申し出て下さい。
12. 競技中審判員の立ち会いが必要な場合には挙手にてお知らせください。
13. ハンドコンディショナー類はボウラズエリア内への持込が禁止されています。必ずボウラズエリア後方に置いて下さい。
14. 競技進行が著しく遅れているボックスには、スローボウリング(競技規則第 134 条)が適用されます。スムーズな競技運営にご協力ください。投球順を示す矢印が表示されたら、速やかに投球を行ってください。
15. 監督がボウラズエリアに入る場合は、監督章を必ず着用してください。監督章を着用していない方はボウラズエリア内へ立ち入らないでください。ボウラズエリア内へ入る場合は必ずボウリングシューズを着用してください(ハウスシューズの貸し出しはありません)
16. 決勝出場チームの入場時間には次点第1位・第2位のチームの入場を認めますが、~~遅刻等による繰上げがなかった場合、速やかに退場していただきます。~~なお、次点3位以下の繰上げは行いません。決勝の競技開始後その他の選手の入場を認めますが、場内の混雑状況により、入場をお断りする場合があります。
17. 決勝出場チームの繰上げについて、A・B・C組上位進出チーム不参加による場合は、各組次点チームから繰り上げます。得点上位進出チーム不参加による場合は、得点上位の次点チームから繰り上げます。

なお、各組上位進出チームの次点第1位・第2位が得点上位により決勝進出となった場合、更にその下の下位チームを各組上位の次点第1位、第2位として取り扱います。

17. コンソールの操作はすべて審判員・センタースタッフにて行います。選手はコンソールには触らないでください。
18. 新型コロナウイルス感染症の拡大により参加キャンセルが発生した場合、各組決勝進出チーム数の調整を行う場合があります。

記録部・広報部

1. チーム記録用紙（複写式ではありません）は、競技受付時に配布します。
2. 記録ミスは、1回目は警告とし、2回目は失格となりますのでご注意ください。
3. ゲーム終了後のコンソール操作は全て審判員・センタースタッフが行いますので、選手はコンソールに触れないで下さい。
4. 予選終了後、記録用紙を競技受付の記録回収箱へ提出して下さい。
5. 予選における同順位、同スコアの場合は競技会規則133条に基づいて行います。
6. 大会成績は、JBC結果速報ページ及び京都府ボウリング連盟のホームページ(<http://bowling-kyoto.com/>)にアップします。記録に対する訂正・異議申し立ては、監督を通じて記録部まで申し出て下さい。場内の成績掲示は行いません。
7. 大会の最終成績は、閉会式の終了後に競技受付でお渡しします。団体毎に監督章と引き換えに受け取ってお帰り下さい。また、大会の最終成績は、大会終了後、各団体メールアドレス宛にメールにて送付します。

褒賞部

1. JBC褒賞記録が出た時は、審判員に申し出て「褒賞申請用紙」を受け取り必要事項を記入して審判員に提出して下さい。記録を確認後、監督を通じて褒賞バッジをお渡しします。
2. 表彰は、下記の順序で行います。
 - (1) 個人ハイゲーム・ハイシリーズ
 - (2) チームハイゲーム・ハイシリーズ
 - (3) ベーカークラスハイゲーム
 - (4) チーム 優勝～第6位

認証部

1. 原則、ボールの当日検量は行いません。選手は事前に各都道府県にてボール検査合格証の発行を受けてください。ボール検査合格証の紛失等により当日ボール検査が必要な場合は主管役員へ申し出ててください。この場合の検査料は1個につき500円です。この大会中のみ有効の当日合格証を発行いたします。
2. 会場に持ち込んだボールは、競技開始前に全て登録を行なってください。
登録料は2個目のボールから1個につき500円です。5個以上のボール登録においては1個につき1,000円の特別保管料を徴収します。なお、原則としてボールの追加登録は認めません。

個数	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個以上
登録料	0円	500円	1,000円	1,500円	2,000円	2,500円	500円ずつUP
保管手数料	0円	0円	0円	0円	1,000円	2,000円	1,000円ずつUP
合計	0円	500円	1,000円	1,500円	3,000円	4,500円	1,500円ずつUP

3. ボール登録には下記 URL より使用ボール登録証データをダウンロードし、事前の記入をお願いします。大会当日会場でのご記入はくれぐれもお控えください。
使用ボール登録証は1枚のみ印刷して持参し、ボール登録受付へご提出ください。
<http://www.jbc-bowling.or.jp/topics/210423/>
4. おつりが発生しないよう、料金表に基づき事前の準備をお願いします。原則両替もお断りします。
5. 競技中参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施します。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力してください。未登録のボールを会場に持ち込んだ場合、大会で記録したそれまでの記録はすべて無効となります。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



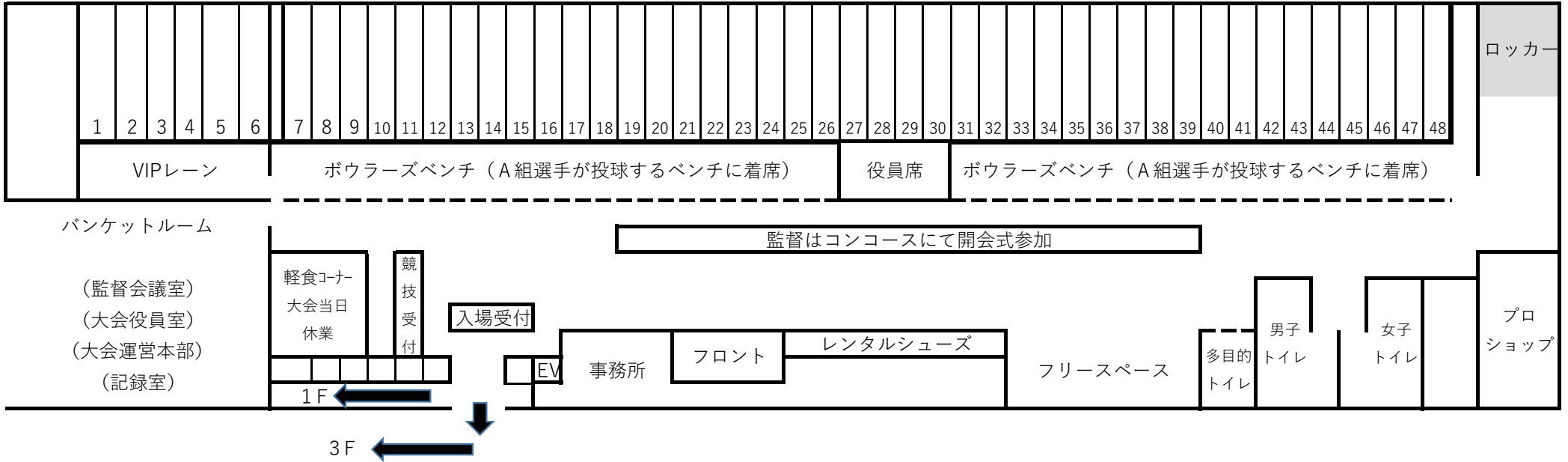
指定緊急避難場所



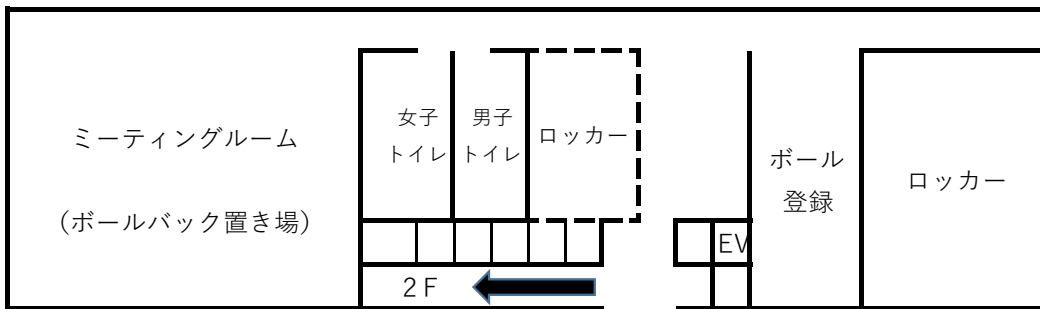
名称	所在地	連絡
京都市立終野小学校	京都市北区上賀茂女夫岩町2-1	075-791-4700

第50回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会・会場図・開会式略図

2F



3F



第50回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会・表彰式・閉会式略図

2F

